

鮭川村

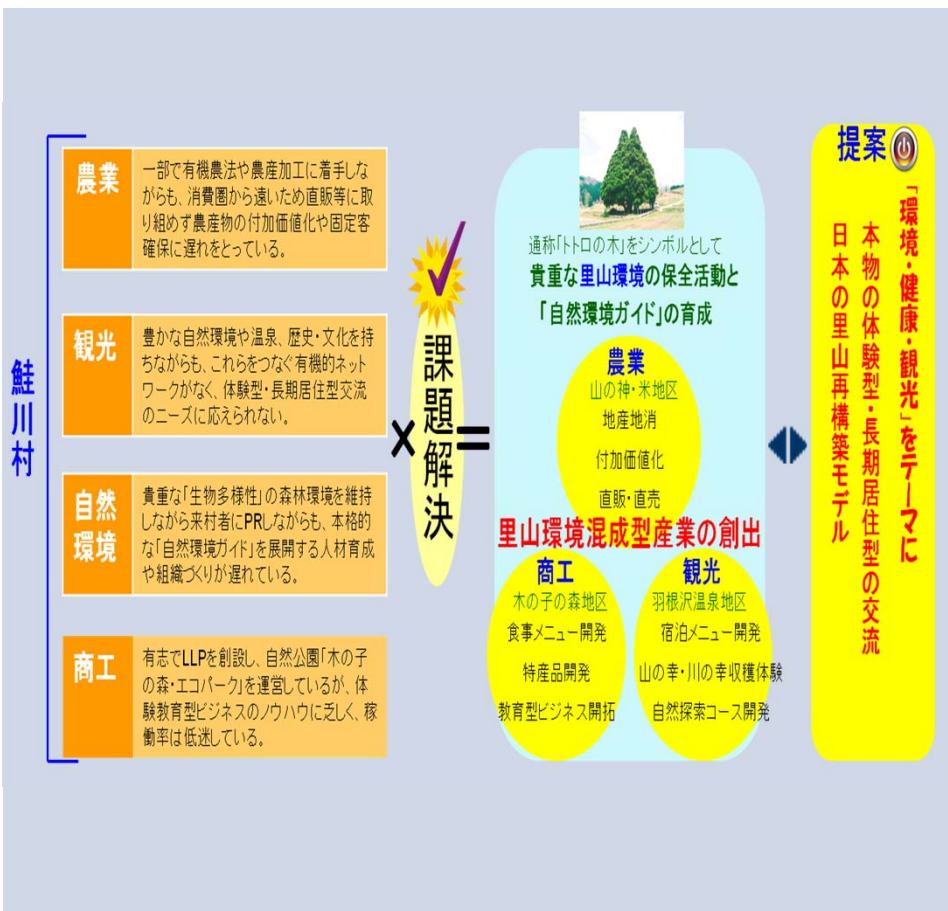
課題

【農業分野】「里山との共生」をテーマにした農林業の確立と6次産業化、及び体験型・長期居住型の交流人口を対象とした地産地消や体験農業の推進による地域基盤の確立
 【観光分野】「昭和浪漫」の湯治場・羽根沢温泉の復活と、通称「トロの木」をシンボルとした新しい体験型・長期居住型交流プランの確立
 【自然環境分野】地域文化の中で育まれてきた希少な「生物多様性」を誇る里山環境の保全活動普及と、体験型・長期居住型の交流人口に対応できる「環境ガイド」の育成
 【商工分野】自然公園「鮭川村エコパーク」を核とした体験型ビジネスの確立と人材育成、および地域の伝統や農産物を活用した独自メニュー・特産品の開発

実現を目指していく地域のイメージ

NPO・地域等との協働により、①農業振興を基盤に②着地型観光開発、③本物の生物多様性保全の継続、④新たな価値としての特産品を開発し、これらを食と生物多様性保全等に資金循環させる「里山環境混生産業」創出による持続的地域発展。

調査事業の概要



対応策の提示

- <これまでのノウハウ、対応策>
- マーケティング調査
 - 地域資源調査とデータベース化
 - 体験モニタリングの実施と調査

- <調査事業によりとりまとめたノウハウ、対応策>
- 里山環境の保全運動拡大と資金循環体制の構築
 - 「里山の自然環境」を付加価値として反映した地場産のブランド化
 - 中間業者の排除による収益拡大と本格的な一元管理組織の創出

- <今回の調査により得られた新たな課題>
- モニタリングをきっかけとした交流プランの面的拡大の模索